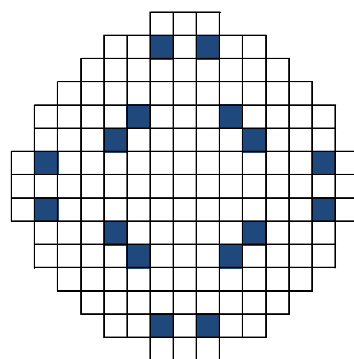


1. 当社のMOX燃料装荷炉心の運転実績

- ▶ 当社は、以下の期間に、伊方3号機にMOX燃料を装荷し定格熱出力で運転を行いました。
 - ・ 2010年 3月 4日～2011年 4月29日 (第13サイクル、MOX新燃料16体装荷)
 - ・ 2016年 8月15日～2017年10月 3日 (第14サイクル、1回照射MOX燃料16体装荷)
 - ・ 2018年10月30日～2019年12月26日 (第15サイクル、2回照射MOX燃料16体装荷)
 - ・ 2021年12月 6日～2023年 2月23日 (第16サイクル、MOX新燃料5体装荷)
 - ・ 2023年 5月26日～2024年 7月19日 (第17サイクル、1回照射MOX燃料5体装荷)
- ▶ MOX燃料を装荷した炉心においても、原子炉の安全性を示すパラメータは運転上の制限を満足しており、パラメータの予測も精度良く、ウラン燃料炉心と同様、適切に運転しております。
 - ・ 具体的なパラメータの確認結果は次ページ以降を参照ください。

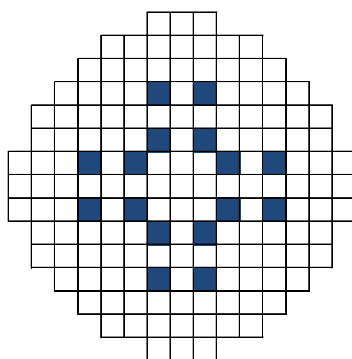
(参考) MOX燃料の装荷位置について

■ 第13サイクル装荷位置



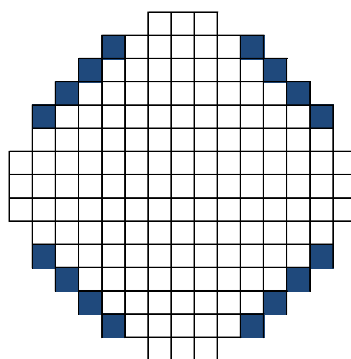
—原子炉上部から見た燃料配置—

■ 第14サイクル装荷位置



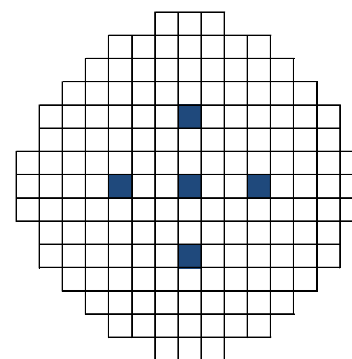
—原子炉上部から見た燃料配置—

■ 第15サイクル装荷位置



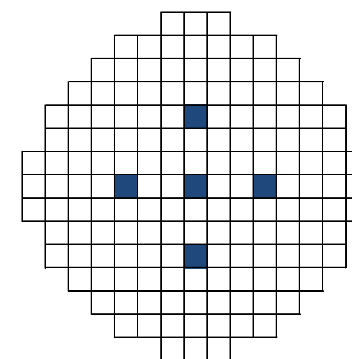
—原子炉上部から見た燃料配置—

■ 第16サイクル装荷位置



—原子炉上部から見た燃料配置—

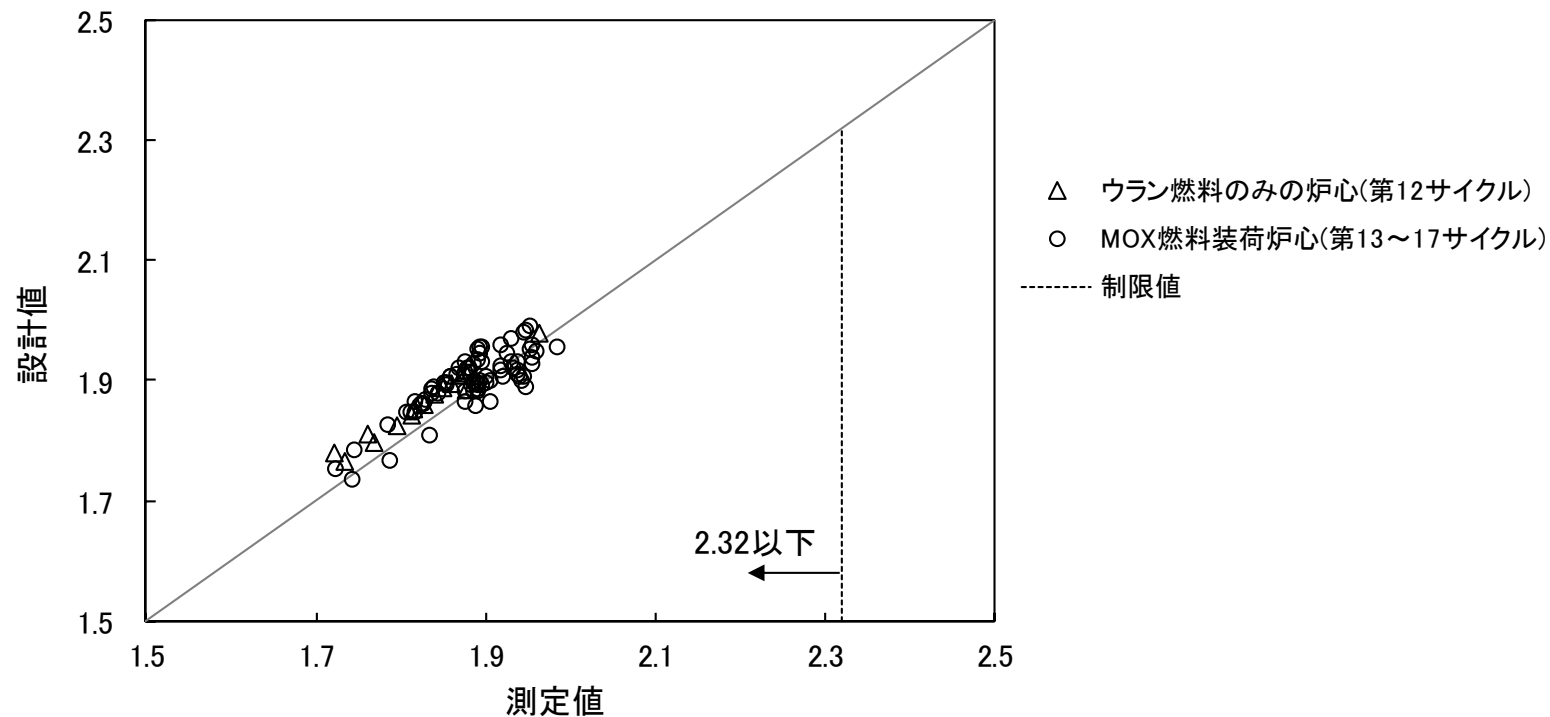
■ 第17サイクル装荷位置



—原子炉上部から見た燃料配置—

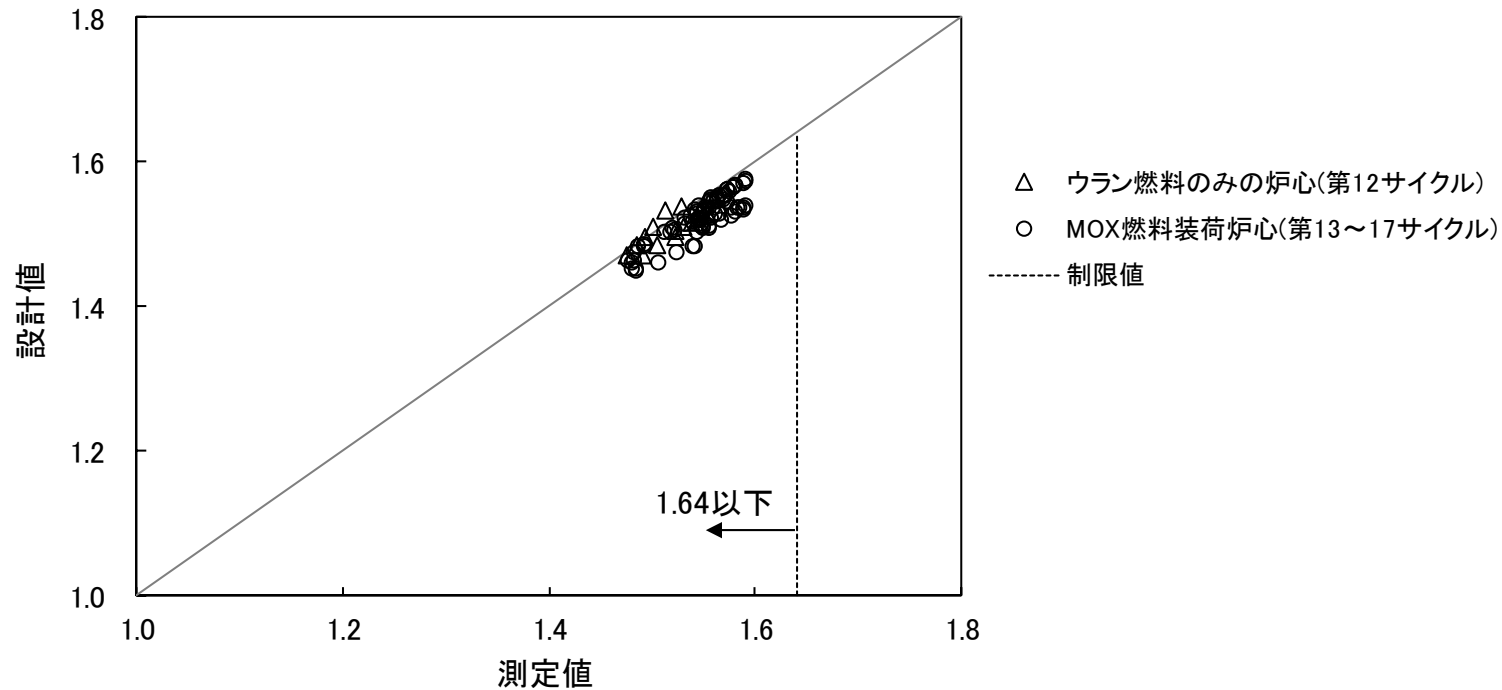
2. 各パラメータの確認結果（最大となるペレットの出力と平均的なペレットの出力の比）

- 最大となるペレットの出力と平均的なペレットの出力の比は、原子炉内の局所的な出力の歪みを示すパラメータです。
- 当社では、最大となるペレットの出力と平均的なペレットの出力の比について、毎月1回、運転時の測定値が制限値以下であることを確認するとともに、計算で求めた設計値と測定値に有意な差がないことを確認しています。



3. 各パラメータの確認結果（最大となる燃料棒の出力と平均的な燃料棒の出力の比）

- 最大となる燃料棒の出力と平均的な燃料棒の出力の比は、原子炉内の水平方向の出力の歪みを示すパラメータです。
- 当社では、最大となる燃料棒の出力と平均的な燃料棒の出力の比について、毎月1回、運転時の測定値が制限値以下であることを確認するとともに、計算で求めた設計値と測定値に有意な差がないことを確認しています。



4. 各パラメータの確認結果 (1次冷却材中の臨界ほう素濃度)

- 1次冷却材中の臨界ほう素濃度とは、核分裂反応が持続する状態（臨界）を維持するのに必要なほう素の濃度のことです。
- 当社では、1次冷却材中の臨界ほう素濃度について、毎月1回、計算で求めた設計値と測定値の差が制限範囲内であることを確認しています。

